

令和 8 年 度 国 語 (05コア・02プラス)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子は問題14ページです。別に、マークによる解答用紙~~マーク~~、記述による解答用紙~~記述~~各1枚をセットで配付します。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙~~マーク~~・~~記述~~をミシン目で折ってていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
解答用紙~~マーク~~の受験番号欄は、右を参考に記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙~~マーク~~はすべてHBの黒鉛筆(シャープペンシル可)で記入することになっています。答えを訂正する場合は、プラスチック消しゴムでよく消して、訂正してください。プラスチック消しゴムを忘れた人には貸与します。
6. 解答用紙~~記述~~は、HB以外の黒鉛筆(シャープペンシル可)や黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
7. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
8. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
9. 使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。
10. 「国語」のコア試験の配点は100点、プラス試験の配点は120点です。プラス試験の受験生の得点は、コア試験とプラス試験の配点比率に応じた調整を行います。
なお、各問題には、コア試験の配点のみ記載します。

例 受験番号が
0637のとき

受験番号					
千位	百位	十位	一位		
0	6	3	7		
0	●	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	●	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	●	6	6	6
7	7	7	7	●	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

良い例	悪い例

受験番号を記入し、さらにその下のマーク欄にマークすること。

受験番号					
	千位	百位	十位	一位	
0	0	0	0	0	0
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9

一

問(二)

	1	2	3	4	5	
ア	①	②	③	④	⑤	ア
イ	①	②	③	④	⑤	イ
ウ	①	②	③	④	⑤	ウ
エ	①	②	③	④	⑤	エ

問(三)

	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	
P	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	P
Q	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	Q
R	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	R

問(六)

	1	2	3	4	5
	①	②	③	④	⑤

問(七)

	1	2	3	4	5
	①	②	③	④	⑤

問(八)

	1	2	3	4	5
	①	②	③	④	⑤

二

問(一)

	1	2	3	4
A	①	②	③	④
B	①	②	③	④
C	①	②	③	④

問(三)

	1	2	3	4
a	①	②	③	④
b	①	②	③	④
c	①	②	③	④
d	①	②	③	④

問(四)

	1	2	3	4
	①	②	③	④

問(五)

	1	2	3	4
	①	②	③	④

問(六)

	1	2	3	4
	①	②	③	④

問(七)

	1	2	3	4
	①	②	③	④

問(八)

	1	2	3	4
	①	②	③	④

05コア・02プラス

受 験 番 号			

一

問
(一)

1

2

3

4

5

問
(四)

X

Y

問
(五)

I

II

III

二

問
(二)

i

ii

総 点	
--------	--

(一) 一

評 点	
--------	--

(四)

評 点	
--------	--

(五)

評 点	
--------	--

(二) 二

評 点	
--------	--

問題は次のページより始まります。

— 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。(配点六十五点)

「自己責任」という言葉は、明治時代にすでに用例が存在するほか、大正時代にはドイツ語の「Selbstverantwortlichkeit」の翻訳語として使用されていた。しかし、今日におけるこの用語の意味を決定づけているのは、主として一九八〇年代以降に日本に流入してきた、「新自由主義」の影響である。

簡潔に説明するなら、新自由主義とは、経済に対する政府の介入を抑制し、市場を民間の自由な競争に ア ねること
で、経済発展を促そうという思想である。たとえば、公共サービスの民営化が、こうした思想に基づく政策として挙げられる。
政府による社会保障を縮小すると、国民は若いうちから資産運用し、少しでも老後のための貯蓄を増やさなければならなくなる。結果として市場は活性化し、経済成長が促されていく。経済は望ましい状態を維持することができる。それが、新自由主義の発想である。

ただし、こうした施策を有効に機能させるためには、国民自身が、「国は自分を守ってくれないから、自分のことは自分でなんとかしないといけない」という価値観を共有していなければならない。そうした価値観を植え付ける道德的指針が、自己責任論なのである。

*

*

*

二〇〇〇年代に入ると、自己責任論に対する批判的な論調も目立ってくるようになる。そうしたフウチヨウを決定づけたのは、二〇〇四年四月に発生した、イラク日本人質事件であろう。

これは、イラクに渡航して活動していた日本人三人が、現地の武装組織に誘拐された事件である。当時のイラクは、前年に起きたイラク戦争によって治安が著しく悪化しており、日本政府は渡航自粛勧告を発表していた。三人はこの勧告を無視して現地へ入国していた。

三人を誘拐した武装勢力は、イラクにチュウトン²している自衛隊の撤退を要求し、さもないれば三人を処刑すると声明した。

当時の首相であった小泉純一郎は、この要求を退けた。結局、イラク・イスラムセイショク者協会³の仲介によって、三人は全員解放され、無事に帰国することができた。

この事件の最中、日本国内では様々な議論が交わされた。実際に、武装勢力は誘拐した外国人を処刑し、そのショッキングな映像を公開していたため、議論は極めて切迫したものになった。そうしたなかで現れてきたのが、自己責任論に基づく次のような主張だった。すなわち、武装勢力の要求を **イ** むべきではない、その結果として三人が処刑されるのだとしても構わない、なぜなら渡航自粛勧告を無視してイラクに渡航したのは本人たちの自己責任であるからだ、というものだ。

イラク日本人質事件における自己責任論は、『読売新聞』や『産経新聞』などの社説で掲載された他、政府の閣僚からの見解としても述べられた。一方、これに呼応するようにして、自己責任論への激しい批判も噴出した。

事件が終結した後も、自己責任論⁴のゼヒ⁵は大きな論争となった。「自己責任」は二〇〇四年のユーキャン新語・流行語大賞のトップテンにランクインする。ここでは、この言葉は次のように紹介されている。

本来はリスクをとって行動した者が自ら「結果責任」をとることをいうが、最近では責任を転嫁する際にしばしば用いられている。特に自己責任という言葉が⁵ヒンパンに用いられたのは、2004（平成16）年4月、戦闘が続くイラクで発生した武装グループによる日本人質事件のときだった。3人の日本人質に対して自己責任という言葉が向けられたのだ。政府の勧告を無視してイラクに向かったのだから、自 **X** 自 **Y** だという議論だった。彼らが果たそうとしたイラクの子供たちへの支援や真実の報道という尊い目的は無視され、政府に迷惑をかけたことだけがクローズアップされた。全体主義の下で、自ら考え、独自の行動をした人を切り捨てるための言葉が自己責任となってしまった。

興味深いのは、ここで「自己責任」という言葉が、責任を「転嫁」するために使われると述べられていることだ。すなわちイラク日本人質事件において、本来、政府が果たすべき責任が、勧告を無視した三人に転嫁され、自己責任の **ウ** のもと

に三人は「切り捨て」られた——そう説明されているのである。少なくとも、選者はこの言葉の使われ方を、欺瞞ぎまん的なもの、詭弁べん的なものとして捉えているのだ。

この事件をめぐる議論は、自己責任という概念が持つ、一つの重要な側面を浮かび上がらせている。それは、責任が「**P**」的なものである、ということだ。ある個人に責任があるなら、別の個人には責任がない。ある行為の結果が「私」の責任なら、それは「私」以外の誰かの責任にはなりえない。したがって、誰かに責任を引き受けさせた時点で、それ以外のすべての人間は責任を免除される——自己責任論には、そうした機能も備わっているのである。

イラク日本人質事件は、どのように **エ** んだとしても、日本社会に損害を生じさせるものだった。では、その損害の責任は誰にあるのか。^A自己責任を唱える陣営は、それを三人の責任にすることで、政府や社会を全面的に免責しようとしたのである。

*

*

*

精神科医の片田珠美は、現代社会を「一億総他責社会」と呼ぶ。片田によれば、「他責」とは「うまくいかないことは何でも他人のせいにして、『自分は悪くない』と主張する」ことである。私たちの社会には、そうした考え方で自分を正当化し、自身と向かい合わない人が数多く出現しているという。なぜ、自己責任を原則としてきたはずの日本社会が、他責的な思考に支配されているのだろうか。彼女はその原因を、自己責任論そのものの重圧からの逃避の結果として解釈する。

「自己責任」は容易に反転して他責になる。「自己責任」の重圧に耐えられなければ、自分自身の問題を否認して他人に転嫁するのが最も手っ取り早いからだ。だから、何か問題が起これるとすぐに「〇〇のせい」と責任転嫁して、「自分は悪くない」と主張する。

しかし、前述の通り、そもそも自己責任という概念自体が、他者への責任転嫁を含意している。なぜなら、誰かに責任を課す

ことによって、それ以外のすべての人間の責任は免除されることになるからだ。そのように考えるなら、自責（＝自己責任）^Bと他責は対極にある概念ではない。むしろ、両者は常に同時に発生するものである、と考えることができる。

他責に陥るということは、言い換えるなら、無責任になるということだ。自己責任論はかえって人々を無責任にさせる。なぜこのような Q 的な事態が生じるのだろうか。文学研究者の荒木優太は、その理由を次のように説明する。

というのも、それは自己責任だ、という言明は、多くの場合、その当の「自己」から発せられるのではなく、見捨てることを正当化しようとする他者から発せられるものだからだ。勿論、^{もちろん}他者による責任追及一般が無効であるとはいえない。ただし、そこで見出される「自己」なるものは、拡散した責任を個人に集約させ、すべてをなすりつけるスケープゴート化の産物なのではないか、と疑ってみる必要があるだろう。ある個人の帰責と同時に、その裏では様々な関係者、政府や企業や国民の免責が行われているのかもしれない。

^C 自己責任論は人々を無責任にする。自責は他責を可能にする。荒木によれば、結局のところ自己責任論は、本来なら責任がある者を免責するために語られる。そうである以上、言説としての自己責任論は、決して責任という概念そのものを尊重するものではなく、むしろそれを蔑^{ないがし}ろにする考えですらある。

*

*

*

これまでの検討から明らかなように、自己責任論は、権力による統治と密接につながっている。それは、権力を維持するために、人々を「責任のある者」と「責任のない者」に分断する。このとき、「責任のある者」が「責任のない者」に援助を求めることは、無責任だ、と批判される。なぜなら自己責任論は P 性を前提にしているのであり、ある者に責任があるなら、それ以外の者に責任はないからだ。もしも「責任のある者」が他者に援助を求めた場合、それは自分の責任を放棄して、「責任のない者」に対して不合理に責任を負わせる、無責任な行為であるかのように理解される。

反対に、「責任のない者」が「責任のある者」を自ら援助することも、同様に、ときに無責任だと見なされる。なぜなら、それは「責任のある者」の責任を、「責任のない者」が引き受けることになるからであり、その覚悟がないなら、最初から援助するべきではないからである。

このようにして、他者に援助を求めることは、それ自体がネガティブな行為として評価される。自己責任論が正しいとみなされるとき、私たちは誰にも助けを求めることができない。そしてそれは、「責任のある者」にその責任を果たす能力がないとき、その人を R 的な状況へと追い込むことになる。

(戸谷洋志『生きることは頼ること』による)

〔問題〕

- (一) 傍線部1～5の片仮名を漢字に直して、解答欄に記入しなさい。〔解答用紙記述〕

(二) 空欄ア～エに入るもつとも適切な漢字一字を、それぞれ後の1～5の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マク〕

空欄ア

- 1 重 2 連 3 委 4 尋 5 任

空欄イ

- 1 阻 2 忌 3 拒 4 好 5 飲

空欄ウ

- 1 名 2 命 3 旨 4 義 5 礼

空欄エ

- 1 絡 2 呼 3 転 4 叫 5 及

(三) 空欄P～Rに入るもつとも適切な語を、次のa～rの中からそれぞれ一つ選んで、解答欄にマークしなさい。ただし、二箇所あるPには同じ選択肢が入り、一つの選択肢を二度使うことはできません。〔解答用紙マク〕

- a 干渉 b 喜劇 c 対称 d 限定 e 排他 f 匿名 g 逆説 h 偽善 i 先鋭

- j 絶望 k 運命 l 典型

(四) 空欄X・Yに入るもつとも適切な漢字一字を、解答欄に記入し、四字熟語を完成させなさい。ただし、同じ漢字は入りません。〔解答用紙記述〕

(五) 傍線部Aに「自己責任を唱える陣営は、それを三人の責任にすることで、政府や社会を全面的に免責しようとした」とありますが、こうした「免責」によって失われたのは、どのようなことですか。次の文は、本文の論旨を踏まえて、それを説明したものです。空欄Ⅰ～Ⅲに入るもっとも適切な箇所を、本文の中から指定の字数でそれぞれ一つ抜き出して解答欄に記入し、この文を完成させなさい（字数は句読点、記号、符号を含みます）。〔解答用紙記述〕

イラクの人々に対して人道的な立場から活動し、現地地起こっていることに関する

Ⅱ 3 字

は覚悟の上で、

Ⅲ 10 字

に乗り出す主体的な自由が失われたこと。

Ⅰ 5 字

を行うため、治安の悪化という

(六) 傍線部Bに「自責（＝自己責任）と他責は対極にある概念ではない。むしろ、両者は常に同時に発生する」とありますが、「自責」と「他責」が「同時に発生する」理由は何ですか。その説明として、もっとも適切なものを、次の1～5の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マーク〕

- 1 自己責任論の中では、自責と他責が分かち難く結びついているから。
- 2 自己責任論の中では、自責と他責のどちらを先に問うかが問題だから。
- 3 自己責任論の中では、自責と他責の区分が絶えず曖昧なままだから。
- 4 自己責任論の中では、自責と他責の中間にある領域が重視されるから。
- 5 自己責任論の中では、自責と他責が両立しないという原則があるから。

(七) 傍線部C「自己責任論は人々を無責任にする」とは、どのようなことですか。その説明として、もっとも適切なものを、

次の1～5の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マ〕

- 1 自分が責任を負わないことが何より優先されるようになったこと。
- 2 個人の責任を問わない相互依存関係が必要とされるようになったこと。
- 3 政府や巨大な組織だけが責任を免れるシステムが構築されたこと。
- 4 巧みな自己正当化が責任を軽減するという考え方が広まったこと。
- 5 自国の責任を他国に押しつけられるレトリックが編み出されたこと。

(ハ) 二重傍線部に「国民自身が、『国は自分を守ってくれないから、自分のことは自分でなんとかしないといけない』という価値観を共有していなければならない」とありますが、このような「価値観」の「共有」から生じた事態とは、どのようなものですか。本文全体の主旨を踏まえて、その説明としてもっとも適切なものを、次の1～5の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マ〕

- 1 自力で克服すべき困難が急増し、人々がそれに対処するため、具体的な行動に走るしかない状況が発生した。
- 2 公共機関と個人がなすべきことの境界が曖昧になり、その境目を再構築する論理が、容易に見出せなくなった。
- 3 国家が果たすべき義務さえもが、個人で解決すべき事柄と見なされ、人々がその重圧に苦しむ世界が到来した。
- 4 個々人が互いに孤立する状態が生まれ、国家や他の人々による救いの手を求める声が、一気に高まりを見せた。
- 5 個人的な利益をひたすら追求する傾向が強まり、国家の隆盛や公共の利益が、顧みられない社会が出現した。

二 次の文章を読んで、後の問題に答えなさい。(配点三十五点)

白河院、深雪^{みゆき}の朝、雪見の御幸あるべしとて、御供の人、少々めさるるよし、ほの聞こえしほどに、やがて出御^Aありて、「おもしろき雪かな。いづかたへか向かふべき。小野の皇太后宮のもとへ向かはばや」と仰せられけるを、御隨身うけたまはりて、従者を馬に乗せて、かの宮へ馳せまゐらせて、「かかることに、すでに御車に奉りて候ふなり。御用意候ふべし」と申したりければ、紅の衣五具ありけるを、背割^{せわ}りにふつと切りて、寝殿十間になん出だされたりけり。「みづから入りて御覧することあらば、いか^①が」と申す人ありければ、皇太后宮、「雪見る人は内へ入ることなし」とて、さわぎたる御気色ⁱなくてなんおはしませける。

さるほどに、やがて御幸なりて、御車遣り入れて、階隠^{はしがくし}の間にさしよせておはしませければ、御酒をなん進め奉られける。朽葉^{くちは}の汗衫着たる童二人、一人は沈^{じん}の折敷^{をしき}に玉の坏^{ぎやく}、銀の皿に金の橘^{たちばな}一房を盛られたるを持ちたりけり。一人は片口の銚子^{ちようし}に酒を入れて持ちたり。二人の童、寝殿の前を経て階の子を斜めに降り下りて、御車へまゐりけるさま、いみじく優になん見え侍る。酒はうるはしうならせ給ひける。橘は、季通御供^{すゐみち}に候ひけるに給はせけり。上皇帰らせおはしませけるまに、「ゆかしく閑散^{さむし}げにてこそおはしませけれ」とて、庄一所まゐらせられたりければ、ただ今御幸なるよし告げまゐらせたりける御隨身になんあづけ給ひける。

同じ院、鳥羽殿におはしませける時、昨日より雪降りて、けふ一日降りくらしたりける。夜半ばかりまでなほ降りければ、院起きさせ給ひて、備後守季通が御前に臥したりけるに、「雪はいくらほどたまりたるぞ。なほ降るかと思てまゐれ」と仰せられければ、「吹きためたる所は一尺にあまりて候ふ。庭は八、九寸ばかり候ふ」と申しければ、「ゆゆしき大雪にこそ。ただいま尺に満ちなんず」と仰せられて、「近衛^{このゑ}の舎人ⁱⁱの近くゐたるやある。しかるべき近衛司^{づかき}の近きは誰かある」など、御気色つかせ給ひておはしけるほどに、鐘の音しければ、「後夜^{ごや}かな」と仰せられて、しばしありけるほどに、さうめきたる人の、さやさやとしてまゐる音のしければ、「誰ぞ、見てまゐれ」と仰せられければ、急ぎ出でて見れば、「淡路守盛長、殿下^{てんが}の御使としてまゐり

て候ふ。以ての外の大雪にてこそ候ふめれ。^② 定めて御覽候ふらん。ただ今まゐり候ふなり」と申させ給ひたりければ、御手をはたとしたせ給ひて、「さ思ひつること」とて、「^Iいかがせんずる」と、さわがせ給ひて、「殿上人・御隨身のしかるべきものども、ただ今急ぎまゐれと、めしに遣はせ」と仰せられて、やがて御装束四、五具取り出ださせ給ひて、「^③いづれをかめすべき」とて、御鬢^{びん}かかせおはしまして、引きつくるひておはします。

（『古今著聞集』による）

（注）白河院＝白河天皇（一〇五三―一一二九）。一〇八六年に讓位する。

小野の皇太后宮＝藤原歆子（一〇二一―一一

〇二）。白河院の伯父にあたる後冷泉天皇の皇后。

紅の衣五具＝紅の衣五着。ここではそれを背中の縫い糸を解い

て十着に見せて、寢殿の簾の下から見せるようにした。

階隠の間＝寢殿造りにおいて、雨を防ぐために建物の階段

の前に柱を立てて庇^{ひさし}をさした場所。

朽葉の汗衫＝朽葉色（表が黄色、裏が赤色）の童女の正装。

沈の折敷＝

沈香の木で作られた角盆。

片口の銚子＝注ぎ口が片方だけについている酒器。

階の子＝梯子^{はしご}段。

季通＝藤

原季通。白河院の信任が篤^{あつ}かった。後に「備後守」となる。

庄一所＝莊園一か所。

鳥羽殿＝白河院が退位後の

御所として造営した離宮。

一尺＝約三十・三センチメートル。十寸で一尺となる。

後夜＝夜半から暁方までの

時間。

盛長＝源盛長。この後に出て来る「殿下」（関白藤原師実）の家の仕事に従事していた。

御鬢かかせお

はしまして＝頭の側面の髪を整えて。

〔問題〕

(一) 傍線部A～Cの本文中の意味としてもっとも適切なものを、それぞれ後の1～4の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙マ〕

A やがて

1 ゆっくりと

2 無理に

3 整然と

4 すぐに

B 向かはばや

1 向かいたい

2 向かうつもりか

3 向かってよいのか

4 向かわない方がよい

C ゆゆしき大雪にこそ

1 ひどい大雪になりそうだ

2 めでたい大雪なのであろうか

3 おそろしい大雪ではないだろう

4 すばらしい大雪になってほしい

(二) 傍線部 i・ii の漢字の読みを、平仮名の現代仮名遣いで、それぞれ解答欄に記入しなさい。なお、i は「きしよく」以外の読みを、ii は「しゃじん」以外の読みを答えること。〔解答用紙 記述〕

(三) 波線部 a～d の敬語の説明としてもつとも適切なものを、次の 1～4 の中からそれぞれ一つ選んで、解答欄にマークしなさい。同じ選択肢を二回以上使ってもかまいません。〔解答用紙 マーク〕

- 1 白河院に対する尊敬語
- 2 白河院に対する謙讓語
- 3 小野皇太后宮に対する尊敬語
- 4 小野皇太后宮に対する謙讓語

(四) 傍線部 ①「いかが」とは、どのようなことを指していますか。もつとも適切なものを、次の 1～4 の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 マーク〕

- 1 小野皇太后宮が衣の工夫を見せないようにすることで、白河院に感動してほしい、ということ。
- 2 小野皇太后宮が衣の工夫を見せてしまうなら、白河院は興味を示すのでしようか、ということ。
- 3 白河院が建物の中に入って来たら、白河院は衣の工夫をどう思うでしょうか、ということ。
- 4 白河院が建物の中に入って来なくても、白河院は衣の工夫に感動するかもしれない、ということ。

(五) 傍線部②「定めて御覧候ふらん」とは、どのようなことを指していますか。もっとも適切なものを、次の1～4の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 $\boxed{\text{ア}}$ 〕

- 1 白河院は必ず雪を御覧にならなければならない、ということ。
- 2 白河院は必ず雪を御覧になっているだろう、ということ。
- 3 殿下は必ず雪を御覧にならないといけない、ということ。
- 4 殿下は必ず雪を御覧になっているだろう、ということ。

(六) 二重傍線部I「せんずる」を品詞分解した時の分け方としてもっとも適切なものを、次の1～4の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 $\boxed{\text{イ}}$ 〕

- 1 せ／んずる
- 2 せん／ずる
- 3 せん／ず／る
- 4 せ／ん／ずる

(七) 傍線部③に「いづれをかめすべき」とありますが、誰がどのようなことを思っていたのですか。その説明としてもっとも適切なものを、次の1～4の中から一つ選んで、解答欄にマークしなさい。〔解答用紙 $\boxed{\text{エ}}$ 〕

- 1 季通が、殿下は何を着て来るのかと思っていた。
- 2 季通が、白河院は何を着るのだろうかと思っていた。
- 3 白河院が、殿下は何を着て来るのかと思っていた。
- 4 白河院が、自分は何を着ようかと思っていた。

(ハ) 『古今著聞集』は鎌倉時代に成立した作品です。鎌倉時代に成立した作品を次の1～4の中から一つ選んで、解答欄に

マークしなさい。〔解答用紙 〕

- | | | | | | | | |
|---|------|---|--------|---|-------|---|------|
| 1 | 更級日記 | 2 | 新古今和歌集 | 3 | 日本霊異記 | 4 | 風姿花伝 |
|---|------|---|--------|---|-------|---|------|